

平成31年度使用

中学校特別の教科道徳用教科書の 選定に必要な資料

出雲採択地区教科用図書採択協議会

各発行者記号は、次のとおりである。

記号	発行者名	発行者略称
A	東京書籍株式会社	東 書
B	学校図書株式会社	学 図
C	教育出版株式会社	教 出
D	光村図書出版株式会社	光 村
E	日本文教出版株式会社	日 文
F	日本教科書株式会社	日 科
G	株式会社学研教育みらい	学 研
H	廣濟堂あかつき株式会社	廣あかつき

選 定 に 必 要 な 資 料

特別な教科 道徳 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心を高める工夫	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○各校の重点項目を入れられるように、30時間分の教材が用意されている。付録教材が5つあるので、本書だけで35時間を行うことも可能になっている。</p> <p>○読み物資料に加えて、実際の写真やイラストなどがふんだんに掲載されており、場面や展開を理解しやすいよう配慮されている。例：1年「よりよいクラス活動を目指して」(P118)</p>	<p>○全学年の教科書の冒頭で、道徳の授業のあり方や話し合いの手引きが袋とじの4ページにわたって記述されている。</p> <p>○いじめや生命のことを考える内容を2～3時間連続で扱い、重点的に学習できるような構成を取り入れている。例：2年 (P22～P31)</p>	<p>○教材に関連のある漫画のコマが掲載されており、イメージを浮かべやすくしている。例：3年「言葉にそえて」(P16)</p> <p>○生徒になじみのある小学校用の教材（1年「橋の上のおかみ」P173）が掲載されており、生徒の興味・関心を高めるように工夫されている。</p>	<p>○新聞の投書に寄せられた様々な意見を紹介するなど、少人数の学級でも多様な考え方に触れることができるように工夫されている。例：1年「だれもが気持ちよく過ごせる社会を目指して」(P83)</p> <p>○全学年「Action!」のページがあり、生徒が話し合いや役割演技を通して考えを深められるように工夫されている。例：2年 (P64)</p>	<p>○教材の冒頭部分に関連のある教科等のマークがあり、教科等と連携した学習ができるように工夫されている。</p> <p>○2年P181には「読書で広げる道徳」が掲載しており、道徳科だけではなく、教育活動全体において、学びが広がるように工夫されている。</p>	<p>○思考を見える化し、話し合い活動を活発にするための授業支援ツール（心情円、ホワイトボード用紙）が巻末付録に用意されている。</p> <p>○「つぶやき」の欄や直接考えを書き込める欄が設けてあり、生徒の考えが残るようになっている。</p>	<p>○各教材終末の「考えてみよう」では、複数の問いが掲載されており、生徒が段階的に学習できるように工夫されており、優れている。</p> <p>○資料には生徒作文が多い。そのため、生徒は共感したり、自分のこととして考えたることができることができ、意欲的に学習が進められる点で優れている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

特別な教科 道徳 No. 2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心を高める工夫	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
B	<p>○35時間分の教材が、夏休みや冬休みを考慮し、学期ごとにバランスよく配列されている。</p> <p>○殆どの教材の後に、「心の扉」のページがあり、道徳的価値を、発達段階に応じてより深く考えられるように工夫されている。例：1年「君が生まれた日」(P43)</p>	<p>○教材の冒頭文に、内容項目や現代的な課題について10のポイントのマークが示してあり、生徒が見通しをもって学習できるように工夫されている。</p> <p>○学期ごとをめぐり「学びの記録」のページがあり、生徒が振り返ることができるようになっている。例：2年 (P80)</p>	<p>○2年「沈黙の海」(P166)では実際にかごしま水族館にある水槽の写真を背景に詩が書かれており、環境問題に関心をもつ工夫がされている。</p> <p>○生徒が憧れる生き方をしていたり、業績を残している人物のエピソードを扱ったりした資料が多く、生徒が関心を持ちながら学習できるよう工夫されている。例：3年「真の国際人 嘉納治五郎」(P66)</p>	<p>○現代的な課題について、3年生では「ドラッグは二つの顔をもつ」(P130)を取り上げ、薬物乱用について学習できるように工夫されている。</p> <p>○2年「自分らしい多様な生き方を共に実現させるためにできること」(P172)では、セクシュアル・マイノリティについて実際の新聞記事をもとに、生徒が現実的な問題であると捉えられるように工夫されている。</p>	<p>○全学年の巻頭に「学級づくり」のページがあり、特別活動と関連づけて活用することができるように工夫されている。</p> <p>○「さあ！楽しい夏休み！」には、これまで学習した内容を想起できるページとなっており、日常生活との関連を図ることができるような工夫されている。例：1年 (P82)</p>	<p>○全学年の教材が大きなフォントで書かれており、生徒が読みやすいように工夫されている。</p> <p>○全学年とも、巻末に「保護者の方へ」というメッセージが掲載されており、保護者と連携して教育活動を行うことに配慮されている。</p>	<p>○各教材の終末の「学びに向かうために」には、意見交換を行うための問いや、生徒の今後の行動に関する問いが書かれており、考えを深められる工夫がされており優れている。</p> <p>○学期ごとの振り返りができ、各学期の学習単元がきっちり設定されている点が優れている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

特別な教科 道徳 No. 3

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心を高める工夫	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
C	<p>○地域教材等を入れられるように、30時間分の教材が用意されている。補充教材を5つ用意しているため、本書だけで35時間を行うことも可能になっている。</p> <p>○教材名の下に導入となる発問が記されており、生徒がこの時間で学習する内容の見通しをもって教材を読むことができるよう工夫されている。例：1年（P24）</p>	<p>○2年「二年生の道徳が始まる」（P2）「どんな三年生になりたいか」（P176）など全学年巻頭、巻末に学年間をつなぐページが掲載されており、学習のつながりを意識した配慮がされている。</p> <p>○全学年の巻頭に設けられているオリエンテーションのページには、道徳科で何をどのように学ぶかがわかりやすく示されており、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。</p>	<p>○「けやき中」シリーズ、「雅司、由紀、美佐」シリーズが3年間通して教材として載っており、同世代の主人公をとおして、自分自身を見つめる工夫がしてある。例：1年（P86）2年（P136）など</p> <p>○3年「ハゲワシと少女」（P30）や3年「変わりゆく地球」（P50）では、インパクトのある写真を掲載させることで、生徒の興味・関心を高め</p>	<p>○直接教材・間接教材を使って、いじめの問題を3年間通して体系的に、バランス良く配置している。</p> <p>○各学年で「やってみよう」のページが1～2ページ設けられており、役割演技等の体験的な学習をすることができるよう工夫されている。例：1年（P27）</p>	<p>○「臓器移植」の教材を、1年生では受ける立場として、3年生では提供する立場として扱うことで、命の大切さを多様な見方で考える工夫がしてある。例：1年（P120）、3年（P126）</p> <p>○3年「死刑制度を考える」（P88）では、社会科で扱う裁判員制度の学習とあわせて考える工夫がされている。</p>	<p>○全学年ともに巻末に「都道府県にゆかりのある人物と、その言葉」が掲載されており、郷土についての理解を深める工夫がされている。</p> <p>○巻末に設けられている振り返り欄では、保護者記入欄もあり、家庭とのつながりが配慮されている。</p>	<p>○35週のうち、30週分だけは必修の単元になっており、残り5週分を各学校の裁量にあわせて活用できるので優れている。</p> <p>○各教材の終末の「学びの道しるべ」には3つの問いが示されており、「何が問題だったか」「自分ならどうするか」「これからどうありたいか」など、道徳的諸価値の理解を深めるような工夫がなされている点が優れている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

特別な教科 道徳 No. 4

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心を高める工夫	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
D	<p>○34時間分の教材が用意されている。補充教材として、小学校の教材も2つ用意しており、合計36の教材がある。</p> <p>○読み物資料に加えて、実際の写真をふんだんに活用し、場面や展開を理解しやすいよう配慮されている。例：1年「エルマおばあさんからの『最後の贈りもの』」(P92)</p>	<p>○全学年の巻末に「テーマ別教材一覧表」が掲載されており、生徒が教材同士を結び付けて考えることによって、内容理解が深まるように工夫されている。</p> <p>○学校生活の実態と生徒の成長を考慮して、一年を4つのシーズン(まとめ)にわけることによって、関連する内容項目が有機的に結びつくように工夫されている。</p>	<p>○ヨシタケさんが描かれた漫画、例：1年「なんだろうなんだろう」(P128)や、有名人直筆のメッセージ、例：1年「あなたへのメッセージ」(P222)が掲載されており、生徒の興味を引く工夫がされている。</p> <p>○全学年で補助教材として、生徒になじみのある小学校用の教材が掲載されており、生徒の興味・関心を高める工夫がされている。例：1年「橋の上のおおかみ」(P212)</p>	<p>○3年「社会の一員として」(P100)には法律上認められている権利や義務についての記述がある。</p> <p>○「学びのテーマ」の「つなげよう」では、この時間の学習を様々な学びへと広げる工夫がしてあり、教育活動全体での道徳教育への配慮がされている。例：1年「学びのテーマ」(P11)</p>	<p>○巻末付録に、教材ごとに他教科や現代的な課題との関連がわかる表がついており、指導者が道徳科の学習を他教科や現代的な課題と結びつけやすいように工夫されている。例：1年「先生方へーこの教科書が目ざした1年生の姿」(P224)</p> <p>○3年「先人の言葉(論語)」(P126)では、国語科で扱う論語の学習と合わせて考える工夫がされている。</p>	<p>○補助教材では、日本各地の玩具や世界の遺産、先駆者を知る郷土についての理解を深める工夫がされている。例：1年「日本の郷土玩具」(P216)</p> <p>○巻末には、シーズン毎に振り返りができるページが設定されており、自分の成長が感じられるようになっている。</p>	<p>○各教材の終末に記載されている「学びのテーマ」には、考える観点や見方を変えるような問いなどが設定されている生徒が多面的な視点を持つような工夫があり優れている。</p> <p>○共通のテーマがいくつか固まって「シーズン」が設定しており、生徒の発達を一つ一つ積み重ねていける構成となっている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

特別な教科 道徳 No. 5

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心を高める工夫	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
E	<p>○35時間分の教材が、内容項目のバランスを考えて配列されている。</p> <p>○教材の表題に、作者や登場人物などの写真や絵を添え、関心を高めるのに加えて、見通しをもちやすくなるような工夫がされている。</p>	<p>○ユニット「『いじめ』と向き合う」では、複数の教材を連続して学習することにより、いじめについて効果的に学習を深めるような構成の工夫がされている。</p> <p>○「この教科書で学ぶテーマ」は、全学年で記載されていて、生徒が1年間に、どの教材がどのような主題に関わっているのかがわかるので、見通しをもって学習することができる。</p>	<p>○「参考」というページが多く掲載されており、生徒の興味・関心を引くと同時に、理解を助けるものになっている。</p> <p>例：2年「盲導犬になるまで」(P25)</p> <p>○各界で活躍中の方々からの生き方のヒントや応援メッセージが全学年で掲載され、生徒が将来に希望をもって生活できるような工夫がされている。</p> <p>例：3年 P15 下</p>	<p>○教材を読んだ後に生徒が問題をつかみ、考え議論できるよう、「学習の進め方」が記載されている。</p> <p>例：1年 P40</p> <p>○情報モラルや環境などの現代的な課題について、2～3時間のユニットで学習できるようになっている。</p>	<p>○「プラットフォーム」では、例えば実生活で円滑な人間関係を作っていくための方法を学ぶことができるようになっている。</p> <p>例：1年「怒りの感情と上手につき合おう」(P43) など</p> <p>○巻末付録に、教材ごとに他教科や領域（特に特別活動）との関連がわかる表が掲載されており、他教科と関連した指導が効果的に行われるよう工夫されている。</p>	<p>○多文化理解を進めるための資料が多くあり（例 2年8リスペクト アザーズ, 19 さよなら、ホストファミリー）、出雲市の生徒の理解教育を進めることに向いていると思われる。</p> <p>○各学年とも、いじめに特化した単元が設定されており、特に中1ギャップが心配される1年生には年間を通じて学びを深められるようになってるのが良い。</p>	<p>○別冊の「道徳ノート」は、カラーのイラストや写真などを使用し、教科書本冊に対応し、生徒が学習しやすいよう構成されており、特に優れている。</p> <p>○各教材に終末には「考えてみよう」が設定しており、読み取ってストーリーに迫るものと、自分の生き方に迫るものとの2種類に分かれている。考え・議論する道徳として特に優れている。</p> <p>○「道徳ノート」の振り返り欄では学期末の成長を感じ取れるようになっている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

特別な教科 道徳 No. 6

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心を高める工夫	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
F	<p>○37 時間分の教材が掲載されているので、35 時間分の教材を学校の実態を考えて選ぶことができるよう配慮されている。</p> <p>○複数の教材の終末がオープンエンドになっており、生徒が主体的に考え出す仕掛けが盛り込まれている。例：1 年「グループ」(P98)</p>	<p>○教科書の教材配列が内容項目ごとにまとまって掲載されているので、学校の重点目標に合わせて指導できるよう工夫がされている。</p> <p>○資料の主題やねらいが書かれていないため、生徒は先入観をもたず、自ら課題を見つけ考えることができるように配慮がされている。</p>	<p>○地域をもとにした教材では、実際の写真を大きく掲載し、ダイナミックさを感じさせることで、生徒の興味・関心を高める工夫がされている。例：3 年「誓い」(P82)</p> <p>○全学年で「リョウとマキ」という教材が記載されており、3 年間を通して友情について考えられる工夫がされている。例：1 年「リョウとマキ」(P60)</p>	<p>○2 年「こんなときどうしたらいいの」(P96) では、障害者差別解消法を明記したり、2 年「だから歌い続ける」(P64) LGBT を教材にしたりするなど、人権意識の高揚を目指す工夫がなされている。</p> <p>○「小泉八雲が見た出雲国」3 年 (P134) では、異文化に向き合うことについての意味を考え、話し合うよう工夫されている。</p>	<p>○「もっと知りたい」「考えてみよう」「話してみよう」のページでは、普段の生活場面を想定して考えさせることで、主体的・対話的に学習できるような工夫がされていると共に、実生活へ生かせるような工夫がされている。例：3 年「3 R ってなあに？」(P21)</p> <p>○「私のいいところはどこ？」1 年 (P84) では、見方を変えることで生徒が自己肯定感をもてるような工夫がしてある。</p>	<p>○表紙と裏表紙に日本の伝統的な祭りや建物、日本の技術力を示すような写真を多数載せてあり、伝統的な文化に親しむことができるような工夫がされている。</p>	<p>○各教材の終末には、「考え、話し合ってみよう」として、深めよう」が設定してあり、中心発問に当たる問い、自分事として考える問いや話し合うための視点が設定してあるところが優れている。</p> <p>○教科書の教材配列が内容項目ごとにまとまって掲載されているので分かりやすく優れている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

特別な教科 道徳 No. 7

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心を高める工夫	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
G	<p>○35 時間分の教材が、内容項目のバランスを考えて配列されている。</p> <p>○A 4 の版型を採用し、レイアウトを工夫することによって、学習展開を考慮して、余白を適度に確保したゆとりある紙面構成になっており、生徒が見やすいように工夫されている。</p>	<p>○全学年で「地球と未来のために」「スポーツの世界でともに輝く」の二つのテーマがユニット教材で構成されており、繰り返し学ぶことによって深く学ぶことができるよう工夫されている。</p> <p>○内容項目がタイトル上に色で示され、主題やねらいは書かれておらず、生徒が先入観をもたずに学習できるよう工夫されている。</p>	<p>○2年「ブラック・ジャック」(P92)では、著名な漫画家の作品をそのまま教材として取り上げており、生徒の興味・関心を高める工夫がされている。</p> <p>○1年「うわさで決めるの？」(P24)や「自然の懐に抱かれて」(P122)では、絵や写真が大きく載せてあり、視覚的な効果を活用することで、生徒の心に響くよう工夫されている。</p>	<p>○3年「礼儀って何」(P30)や「日本の未来へデビュー」(P136)のように、様々な考え方が提示してあることで、少人数のクラスにおいても多面的・多角的に考えられる工夫がされている。</p> <p>○いじめについて直接的に扱った教材と間接的に扱った教材を使って、3年間通して様々な立場から考えられるよう工夫されている。例：1年「うわさで決めるの？」(P24)、2年「旗」(P14)</p>	<p>○巻末付録に、教材ごとに他教科や領域（特に特別活動）との関連がわかる表が掲載されているので、他教科・領域と関連した指導が効果的に行われる工夫がされている。</p> <p>○殆どの教材の後に「クローズアップ」等のページがあり、道徳科での学習を広げていけるように工夫されている。例：2年「心に響く言葉1」(P19)</p>	<p>○全学年で情報モラルについて複数の教材を取り上げ、教材のタイトル下に「情報モラル」と示すことで、生徒が意識的に学習できるよう工夫されている。</p>	<p>○各教材の終末には、内容項目に迫るような問いが1つだけ設定してある。教師の工夫によって生徒の考えを広げることができるような配慮になっている点で優れている。</p> <p>○巻末の「1年間の成長を振りかえる」では、内容項目ごとに4つのレベルで評価される工夫がされており、自分の心の変容が確認できる工夫がなされている点で、優れている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

特別な教科 道徳 No. 8

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心を高める工夫	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
H	<p>○35 時間分の教材が、内容項目のバランスを考えて配列されている。</p> <p>○「中学生の道徳ノート」にも文章や資料が掲載されており、教育活動全体での道徳教育と連動して使うことができるようになっている。</p>	<p>○1つの教材に対して、複数の内容項目が設定されている教材があり、学校の実態に応じて指導できるよう工夫がされている。各学年巻末「内容一覧」参照。</p> <p>○資料の主題やねらいが書かれていないため、生徒は先入観をもたず、自ら課題を見つけ考えることができるような構成になっている。</p>	<p>○教材の終わりに、その内容項目に関する先人の一言が載せてあり、生徒の興味・関心をひく工夫がされている。</p> <p>○全学年で、真一、夏樹が登場するストーリーが掲載されており、生徒が自分の成長と重ねて学習できるように工夫されている。例：1年「アイツ」(P24)、2年「アイツとセントバレンタインデー」(P132) 3年「アイツの進路選択」(P72)</p>	<p>○巻末には、情報モラルについての特集のページがあり、発達段階に沿って、情報モラルについての学習を深めていけるよう工夫されている。</p> <p>○巻末に、現代的な課題に関するページがあり、実生活やキャリア教育と関連付けた教材が設定されている。</p>	<p>○いくつかの教材の後に「thinking」として教材に関連するコラムを設け、多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。例：1年「してもよい『いじめ』」(P41)</p> <p>○3年「招集通知」(P142)では裁判員についての内容で社会参画や公共の精神について考える資料となっている。</p>	<p>○「中学生の道徳ノート」がセットとなっており、特別の教科道徳の時間の振り返りの記録だけでなく、心のしおりなどあり、1年間の自分の成長が感じられるように工夫されている。</p>	<p>○各教材の終末にある「考える・話し合う」では、本時のめあてが示してあり、生徒が見通しをもちやすくなっている。また、生徒が考えたいくなるような問いや、考えを深めるための視点が載せてあり優れている。</p> <p>○教科書と、その内容をさらに発展させた「道徳ノート」の構成になっており、各学校の実態に合わせて学びを深められる点で優れている。</p>